

## 昭和電気北陸(株) 環境行動計画

平成23年6月1日

### 取組方針

昭和電気北陸株式会社は、社員一同が事業活動を通じて環境にやさしい商品の利用を推奨し、地域にやさしい企業を目指します。

当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、全従業員がそれぞれ立場で取組方針を社内に提示し周知徹底する。事業活動の中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減・節電・節水）

- ① 電設資材業として、環境にやさしい商品の販売に努めます。
- ② 営業、業務、事務部門における廃棄物の削減
- ③ 車のエコ運転、電気の節電に努めます。
- ④ ゴミの分別の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成23年 6月 1日

昭和電気北陸株式会社

代表取締役社長 小島 修一

### 3 環境負荷の低減目標

24年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも22年です。)

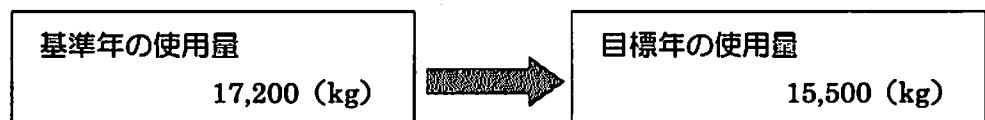
【目標1】 二酸化炭素の総排出量を以下の通りとする



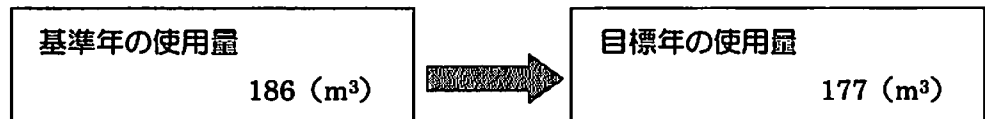
【目標2】 産業廃棄物の排出量を以下の通りとする



【目標3】 コピー用紙の使用量を以下の通りとする



【目標4】 水使用量を以下の通りとする



### 4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

事務・営業部門での取組)

- ・ 事務室の空調温度を適正（冷房時 27 度、暖房時 21 度）に設定する
- ・ 朝出勤前人のいない場所の点灯はしない
- ・ 倉庫の電気は6時以後は入り口だけ点灯
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- ・ 車の空調温度を適正温度に設定する

【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

(産業廃棄物)

- ・ 廃棄物の分別仕様を再検討し、置き場を整備する
- ・ 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する

- ・ 不良品・スクラップ製品の発生状況を記録し、掲示する  
(一般廃棄物)
- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ・ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する
- ・ 製品をできるだけ長期間使用する

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める

【取組4】 水使用量の削減

- ・ 配管からの漏水を定期的に点検する
- ・ 水道蛇口に節水こまを設置する

## 5 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします